

第4章

基本施策



基本施策 1	生き抜く力を育む学校教育の推進	51
基本施策 2	安全・安心で快適に学べる教育環境の充実	54
基本施策 3	暮らしを豊かにする学びの支援	56
基本施策 4	地域による次世代人材の育成の促進	58
基本施策 5	まちへの誇りや愛着につながる ものづくり学習の推進	60
関連計画との連携		62



施策体系

施 策 名	施策の柱
1 生き抜く力を育む 学校教育の推進	①学びのつながりや地域とのつながりを重視した教育の推進 ②確かな学力を育む教育の推進 ③豊かな人間性を育む教育の推進 ④たくましく生きるための健康・体力を育む教育の推進
2 安全・安心で快適に 学べる教育環境の充実	①学校施設の環境の充実と整備の推進 ②給食調理環境の整備 ③中央図書館の再整備
3 暮らしを豊かにする 学びの支援	①市民の活躍を支援する学びの場の充実 ②図書資料等を通じた出会いと交流の促進と課題解決の支援 ③子どもの読書活動の推進
4 地域による次世代人材の 育成の促進	①小・中学生が主体的に活動できる機会の充実 ②高校生・大学生の社会参加活動の促進 ③自立に困難を抱える若者の支援 ④家庭教育力の向上
5 まちへの誇りや 愛着につながる ものづくり学習の推進	①ものづくりや科学に興味・関心を高める機会の充実 ②高度なものづくりや科学を学ぶ機会の充実

生き抜く力を育む 学校教育の推進



(1) めざす姿

地域ぐるみでの学び合いを通じて、生き抜く力を備えた児童生徒が育っている。

(2) 状態指標

指 標	現状値	めざす方向
人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生 【出典：全国学力・学習状況調査】	①74.5% ②71.8% (2019)	↗
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合《再掲》 ①小学生 ②中学生 【出典：全国学力・学習状況調査】	①84.6% ②69.8% (2019)	↗
学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合《再掲》 ①小学生 ②中学生 【出典：全国学力・学習状況調査】	①84.9% ②79.7% (2019)	↗
一人ひとりにわかりやすい授業をしていると思う保護者の割合《再掲》 【出典：保護者アンケート】	66.7% (2020)	↗
自分の住む地域が好きだという児童生徒の割合《再掲》 ①小学生 ②中学生 【出典：教科等に対する意識調査】	①88.6% ②84.5% (2020)	↗

(3) 施策の柱

①学びのつながりや地域とのつながりを重視した教育の推進

こども園・幼稚園、小・中学校、高等学校とのつながりや地域とのつながりをより深めるために、人材の確保・育成を推進し、子どもたちの学校や自分の住む地域・豊田市を愛する気持ちを育成します。

②確かな学力を育む教育の推進

きめ細かな教育や分かる・深まる学習を推進するため、少人数指導やICTを活用した授業づくりに取り組みます。

③豊かな人間性を育む教育の推進

障がい、いじめ、不登校、日本語教育が必要な児童生徒、多様性への配慮（例えばLGBT*）等への支援を充実させるため、道徳の授業など学校教育活動全体で豊かな人間性を培うとともに、相談やサポート体制の強化に取り組みます。

④たくましく生きるために健康・体力を育む教育の推進

子どもたちの健やかな体を育てるため、子どもの体力向上プログラムの充実や部活動の運営支援に取り組みます。

(4) 主な事業

事業名	事業概要	担当課
「主体的・対話的で深い学び」推進事業 【重点事業1－1】	「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりについて研究し、各学校で指導方法の工夫・改善を実施	学校教育課
ICT活用・整備推進事業 【重点事業1－2】	ICT機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」を推進するための学習スタイルの構築及びICT環境の整備を推進	学校教育課
きめ細かな教育推進事業 【重点事業2－1】	豊田市独自の少人数学級と非常勤講師・補助員等の配置により、きめ細かな教育を推進	学校教育課
いじめ・不登校対策事業 【重点事業2－2】	いじめの防止や対応、不登校児童生徒の自立支援などに関する各種対策事業を実施	学校教育課
特別支援教育推進事業 【重点事業2－3】	身近な地域での特別支援教育に関する諸問題を解決するために、ブロックサポート体制による取組を推進	学校教育課
外国人児童生徒等教育事業 【重点事業2－4】	外国人児童生徒等の小・中学校への適応を進めるため、日本語指導や学習相談、支援等を実施	学校教育課
WE LOVE とよた教育プログラム推進事業 【重点事業3－1】	子どもが郷土を愛する心や学びに向かう力を育むため、関係課等と連携した教育プログラムを構築し、学校による豊田市の教育資源の活用を推進	学校教育課
コミュニティ・スクール／地域学校共働本部推進事業 【重点事業4－1】	地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく組織の活動を推進し、小・中学校、交流館など地域の関係機関との連携及び地域ぐるみの教育を推進	学校教育課 市民活躍支援課
地域との連携等による教職員多忙化解消推進事業 【重点事業4－2】	業務改善に向けた学校マネジメントの実施や地域の人材を活用した部活動の支援など、教職員の長時間労働を是正	学校教育課
学び続ける教員の育成推進事業	「豊田市教員人材育成プラン」を踏まえ、キャリアステージに応じた教員研修の実施とOJT*の充実を推進	学校教育課

事業名	事業概要	担当課
中高連携事業	市内の公立高校の特色ある取組や魅力をPRする「豊田市高等学校魅力発見フェスタ」の開催や、中学校と高校の教員が互いの授業を参観する授業交流を実施	学校教育課
特色ある学校づくり推進事業	特色と活力ある学校づくりを推進するため、校長の自由裁量予算を確保し、必要な人員配置や、地域の文化や芸術に関わる活動、交流や勤労生産に関する活動等を学校独自に展開	学校教育課
英語教育の推進事業	児童生徒のコミュニケーション能力を高めるために、外国人英語指導講師(ALT)と連携した教員の英語指導力向上のための研修を実施	学校教育課
貧困状態にある子どもへの支援事業	学校を窓口とした福祉関係機関との連携及び就学援助制度等による経済的な支援を推進	学校教育課
奨学生交付金事業	高校生と大学生のうち、成績優秀であり、かつ、経済的な理由により修学困難な者に対して、給付型奨学生を支給	教育政策課
道徳教育の推進事業	学習指導要領改訂による道徳の教科化に伴う授業改善への取組や教育課程の編成等、道徳教育を推進	学校教育課
子どもの体力向上推進事業	児童生徒の体力向上及び運動好きな児童生徒を育てるために、各校の現状に合わせた「体力向上1校1実践」の取組を実施	学校教育課
学校給食による食育事業	学校給食を活用し、豊田市の特色ある給食の提供と食に関する指導の実施	保健給食課

安全・安心で快適に学べる 教育環境の充実



(1) めざす姿

児童生徒が安全・安心で快適に学べる環境が整っている。

(2) 状態指標

指 標	現状値	めざす方向
学校における重大事故件数 【出典：「学校事故対応に関する指針」に基づく基本調査】	0件 (2019)	↗
保全改修を実施した学校数 (年度末時点)	72校 (2020)	↗
トイレ再整備を実施した箇所数 (年度末時点)	460か所 (2020)	↗
学校給食衛生管理基準制定以後に整備した 給食センター数 (年度末時点)	2施設 (2019)	↗

(3) 施策の柱

①学校施設の環境の充実と整備の推進

安全・安心で快適な教育環境を提供するため、施設の老朽化への対応や、社会環境の変化に伴う新たなニーズに対応した整備を進めます。

②給食調理環境の整備

子どもたちに安全・安心な給食を提供するため、衛生管理の徹底や食物アレルギーに対応できる環境整備を進めます。

③中央図書館の再整備

利用者の安全確保と施設の安定した運用を実現するため、利用環境や利便性の向上に配慮しながら、時代に即した機能改修を進めます。

(4) 主な事業

事業名	事業概要	担当課
学校施設長寿命化改修事業 【重点事業2－5】	建物の目標使用年数を80年とし、学校施設の効果的な改修を計画的に行い、長寿命化による施設管理を実施	学校づくり 推進課
学校施設保全改修事業	安全・安心で快適な教育環境を確保するため、老朽化が進む学校施設の保全改修を実施	学校づくり 推進課
学校トイレ再整備事業	快適な教育環境を確保するため、トイレの洋式化を実施	学校づくり 推進課
バリアフリー化整備事業	バリアフリー化未実施の小・中学校において、エレベーターや多目的トイレ、段差解消等の整備を実施	学校づくり 推進課
小学校遊具再整備事業	安全・安心な教育環境の確保と児童の体力向上のため、老朽化が進む小学校遊具の再整備を実施	学校づくり 推進課
若園交流館・若園中学校技術科棟改築事業	施設の老朽化や利用者ニーズの多様化による機能不足に対応するため、若園交流館と若園中学校技術科棟の合築を実施	学校づくり 推進課
校舎増築事業(中山小学校ほか)	宅地開発等により児童生徒数が増加する学校に対して、教室不足が生じないよう計画的に教室を整備	学校づくり 推進課
給食センター建替事業	老朽化した給食センターの移転新築整備の検討を実施	保健給食課
中央図書館大規模改修事業	いつまでも安心して快適に利用できるよう、利用開始から20年以上経過した中央図書館の改修を実施	図書館管理課

暮らしを豊かにする 学びの支援



(1) めざす姿

市民が自ら楽しく学び、様々な活動が行われている。

(2) 状態指標

指 標	現状値	めざす方向
交流館の延べ利用者数	129万人 (2020)	↗
中央図書館の年間延べ利用者数	642,979人 (2020)	↗
読書が好きな児童生徒の割合 ①小学生 ②中学生 【出典：全国学力・学習状況調査】	①76.6% ②70.7% (2019)	↗

(3) 施策の柱

①市民の活躍を支援する学びの場の充実

市民の生涯にわたる学び、交流、活動の促進を図るため、多様な活動や多様な主体の参加が広がる交流館運営を進めます。

②図書資料等を通じた出会いと交流の促進と課題解決の支援

図書資料等を通じた出会いや交流の機会を増やすため、また市民や地域が抱える課題の解決を支援するために、図書館機能の充実を図ります。

③子どもの読書活動の推進*

読書活動を通して、想像力や感性を磨き、表現力や創造力を高められるよう、子どもに豊かな読書環境と充実した読書機会を提供します。

*施策の柱③は、子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)第9条第2項に基づく「市町村子ども読書活動推進計画」として、位置付けます。

(4) 主な事業

事業名	事業概要	担当課
交流館運営事業	豊田市交流館運営基本方針に沿った交流館運営を実施し、地域の拠点施設として、市民活動の促進や市民の活躍を支援	市民活躍支援課
子どもの読書活動推進事業 【重点事業1－3】	子どもが読書に親しみ、図書資料等を主体的に活用するため、お話し会を中心とする本に親しむイベントや、調べ学習支援のための講座等を実施	図書館管理課
中央図書館管理運営事業	豊田市中央図書館運営基本方針を踏まえた、効果的・効率的な図書館の管理運営を実施	図書館管理課
図書資料デジタル化事業	保存・活用を目的とした図書資料（主に郷土資料）のデジタル化及び電子書籍導入の検討を実施	図書館管理課
図書資料の充実と環境整備事業	身近に本のある環境を整え、多くの本に出会えるようにするために、施設における図書資料等の購入や、学校・園及び放課後児童クラブ等への団体貸出等を実施	図書館管理課
子どもと本をつなぐ人材育成支援事業	子どもと本をつなぐ人を増やすため、読み聞かせボランティアの育成、読書相談（レファレンス）の充実、学校図書館司書への支援等を実施	図書館管理課

地域による次世代人材の育成の促進



(1) めざす姿

地域や社会で活躍できる次世代の人材が育っている。

(2) 状態指標

指 標	現状値	めざす方向
地域の行事や活動に参加している割合 ①小学校低学年 ②小学校高学年 ③中学生 ④高校生 ⑤青少年（19歳～29歳） 【出典：豊田市子ども・子育てに関する市民意向調査】	①84.1% ②86.4% ③72.4% ④38.1% ⑤18.4% (2018)	↗
外出頻度の少ない若者の割合 ①高校生 ②青少年（19歳～29歳） 【出典：豊田市子ども・子育てに関する市民意向調査】	①2.8% ②3.6% (2018)	↘
家庭の教育力に満足している市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	25.4% (2020)	↗

(3) 施策の柱

①小・中学生が主体的に活動できる機会の充実

生き抜く力を育むため、地域における活動の場や挑戦する機会を充実します。

②高校生・大学生の社会参加活動の促進

地域社会の担い手として高校生・大学生が成長するため、地域や社会との交流の機会や活動のきっかけづくりを行います。

③自立に困難を抱える若者の支援

自立に困難を抱える若者が就労や社会参加などを行うため、関係機関との連携による包括的な体制で自立に向けた支援を行います。

④家庭教育力の向上

親としての意識や能力が身に付く家庭教育支援の展開を図り、子育ての悩みを抱える家庭が孤立しないよう、地域ぐるみで子育ち環境の向上を図ります。

(4) 主な事業

事業名	事業概要	担当課
学生まちづくり講座事業	学生を対象にまちづくりに関する考え方や手法を学び、企画から実現まで一貫して行う講座を実施	次世代育成課
若者サポートステーション事業	自立に困難を抱える若者が就労や社会参加などを行うため、関係機関による包括的な体制で自立に向けた支援を実施	次世代育成課
家庭教育支援事業	子育てに関する保護者への情報提供や子育ての仲間づくり・情報共有ができる場の提供等により、家庭教育を支援	次世代育成課



学生まちづくり講座事業の様子



家庭教育支援のための「親育ち交流カフェ」の様子

まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進



(1) めざす姿

子どもが系統的にものづくりや科学を学ぶ機会があり、市民がものづくり活動を支え、大切にしている。

(2) 状態指標

指 標	現状値	めざす方向
ものづくりに興味のある児童生徒の割合 ①小学校5年生 ②中学校2年生 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	①80.7% ②64.4% (2020)	↗
子どものものづくり学習を支える企業・団体等の数 (年度末時点)	123団体 (2020)	↗

(3) 施策の柱

①ものづくりや科学に興味・関心を高める機会の充実

幼少期からものづくりや科学への興味・関心を高め、創造性や感受性を育むため、学校や身近な場所でのものづくり学習の機会の充実を図ります。

②高度なものづくりや科学を学ぶ機会の充実

小学校高学年から中学生・高校生の課題発見・解決力、創造力の向上や職業に対する意識を醸成するため、企業や大学、ものづくり団体等と連携した高度で実践的なものづくり・科学の学習機会の充実を図ります。

(4) 主な事業

事業名	事業概要	担当課
ものづくり教育プログラム事業 【重点事業3-2】	小学生を対象に、学校カリキュラムの中で関連付けたものづくり体験を、ものづくりサポーターの支援により実施	市民活躍支援課
とよたものづくりフェスタ事業	子どもたちが様々なものづくりを体験・体感できるイベントを、ものづくり団体、大学、高校、中学校等と連携して開催	市民活躍支援課
クルマづくり究める プロジェクト事業	子どもたちが、プロからクルマづくりを学び、挑戦する活動を自動車関連企業と連携して実施	市民活躍支援課
匠の技・職人の技に学ぶ ものづくりプロジェクト事業	和紙、鍛冶屋、竹細工といった伝統的な匠のものづくりや食品サンプルなどの現代の名工から学ぶ講座を実施	市民活躍支援課
科学技術教育推進事業	主に中学生・高校生を対象とし、企業、大学、関係団体等と連携したハイレベルのものづくり・科学講座等の開催や生徒の活躍を支援	市民活躍支援課

関連計画との連携

文化・スポーツ・幼児教育・成人の社会教育に関する個別計画とは、以下を始めとした事業の実施を通じて緊密に連携を図り、市民が幅広く学びを深められるような取組を推進します。

(1) 「第2次豊田市文化芸術振興計画」

事業名	事業概要	担当課
学校への文化活動者派遣事業	文化活動者が市内の学校に出向き、授業で演劇・本作り・俳句・造形等を指導することで、子どもたちの文化芸術への興味発掘や、教員の新たな指導法の獲得の機会とする	文化振興課

(2) 「第4次豊田市生涯スポーツプラン」

事業名	事業概要	担当課
夢の教室	本市にゆかりのあるアスリート等が夢先生として市内小学校を訪問する「夢の教室」を継続開催する	スポーツ振興課

(3) 「第3次豊田市子ども総合計画」

事業名	事業概要	担当課
子ども園における園評価	子ども園における教育・保育の方針や内容などの運営状況について、自己評価及び保護者などの園関係者による評価を行い、教育・保育の質の向上に努める	保育課

(4) 「第4期豊田市市民活動促進計画」

事業名	事業概要	担当課
市民の活躍機会のコーディネート	交流館を始めとした中間支援組織による市民の活躍機会のコーディネートを実施	市民活躍支援課